



# コンビナート事業所 自衛防災組織訓練検証



## 三重県 四日市市消防本部

事例類型	Ⅳ他団体との連携／Ⅴ人材育成
取組期間	平成 29 年 4 月から

### 背景

石油コンビナート等特別防災区域において災害が発生した場合には、対応を誤ると被害の拡大を招くおそれがあるため、初動対応は非常に重要である。自衛防災組織には、刻一刻と変化する災害状況、現場の最前線や計器室における活動の状況など、重要な情報の収集、伝達、分析及び共有を始めとして、それらの情報から災害の変化を先読みし、常に災害に対して先手の対応を打つ高い判断能力が求められる。

また、南海トラフ地震などの大規模な自然災害時には、事業所内の複数の施設で同時に発災することも予想され、このような大規模災害への対応力も強化していかなければならない。

当市では、従前から「四日市コンビナート地域防災協議会」に加盟する全社に対し、比較的少人数から実施できる図上訓練の実施を推進してきたが、事業所の災害対応能力の更なるレベルアップを目的として、自衛防災組織の強化及び公設消防隊との連携を主眼とした実動訓練を実施するとともに、その内容について検証することとした。

### 内容

石油コンビナートにおける災害では、消火、拡散防止等の最前線における現場活動のみでなく、プラントをコントロールする計器室等の活動や事業所全体を俯瞰的に見て対応する事業所の本部における活動など、全ての活動を融合させて、高い災害対応能力を発揮する必要があることから、防災協議会に加盟する33社が個々に実施する実動訓練に消防職員を派遣して、現場、計器室等、事業所の本部などの主要な場所へ配置し、火災対応をメインとした訓練の検証を実施している。



【自衛消防組織等の訓練の様子】

### 成果

1.	公設消防隊が事業所とともに実動訓練を実施することにより、事業所の災害対応能力の強化及び公設消防隊との連携を深めることができ、さらに公設消防隊のコンビナート災害対応能力の強化に繋がっている。
2.	消防職員が検証者として、事業所内で実施される実動訓練を俯瞰的に見て、事業所の規模や施設に応じた指導や助言を行い、自衛防災組織と意見を交換するため、コンビナートに係る規制や災害対応の要領などに対する理解を深めることができ、コンビナート規制に携わる人材のOJTとして良い機会となっている。
3.	防災協議会に加盟する全社の実動訓練を消防職員が検証し、効果的である活動内容や資機材、改善を必要とする部分など、検証結果を個別及び全社へとフィードバックすることで、防災協議会加盟事業所全体の防災体制のボトムアップを図ることができた。
4.	消防職員が検証するため、自衛防災組織の実動訓練に緊張感を持たせることができ、初年度では詳細なシナリオを作成しての訓練が多かったものの、アウトライン以外の部分はブラインド化するなど、より実災害に近い内容で実施する事業所が増えた結果、図上訓練やシナリオ形式の訓練では見えない災害対応上の問題点が明らかになり、自衛防災組織を構成する従業員の配置や情報収集、伝達の効率化など、具体的に各社の防災体制等の見直しへと反映されている。
5.	消防機関が現場活動において必要とする情報について、事業所到着時や指揮本部設置時等に円滑に提供できる体制の構築を図ることができた。